

「新潟県地域共同リポジトリ」のご紹介

平成23年11月28日（月） 長岡大学説明会
新潟大学附属図書館 住石智子

本日の内容

1. リポジトリとは

- ▶ リポジトリの定義・背景
- ▶ 『新潟県地域共同リポジトリ』について
 - 概要、運営組織、登録状況
- ▶ 国内の動向
- ▶ 公開までの流れ・著作権について

2. 長岡大学の紀要登録について

- ▶ 刊行状況、オンライン公開状況

1-1. 定義

「機関リポジトリ (IR: Institutional Repository)」とは？

- ▶ リポジトリ (Repository) = 保管庫、貯蔵庫
- ▶ 大学や研究機関等で生産された研究成果等を電子化してサーバーに保存し、無償で社会に公開するインターネット上の電子的保管庫

研究成果等

- ▶ 紀要論文、学術雑誌掲載論文
- ▶ 学会発表資料 など

1-2.背景

学術雑誌の価格高騰(1990年頃～)

学術雑誌・電子ジャーナルの購読中止

読者

- ・必要な論文が利用できない
- ・自分が書いた論文を、自大学で見られない

著者

- ・投稿した雑誌論文を
多くの人に読んでもらえない

無料オンライン公開(オープン・アクセス化)

著者
大学・研究機関

論文等の学術研究成果へ、誰もが障壁なくアクセスできるように

機関リポジトリの構築

1-3. リポジトリの意義

研究者に
とって

- 研究活動のPR
- 学術情報入手の手間とコスト削減
- 長期的保存

大学にとって

- 地域社会への説明責任の履行
- 産学連携の推進
- 大学のPR

1-4.種類

●機関リポジトリ

- 1つの機関が、独自に運用しているリポジトリ

●共同リポジトリ

- 地域や研究主題を共通にする機関が、共同で運用しているリポジトリ

➡ **新潟県地域共同リポジトリ (Niigata Regional Repository)**

* 新潟県内の大学・研究機関が共同運用

1-5.新潟県地域共同リポジトリ

- 新潟県内の大学を中心に、研究成果の保存・公開を目的として構築
- 大学図書館以外の機関(博物館、研究所、等)にも働きかけを行い、地域における学術情報発信をめざす



▶ 運営組織:
共同リポジトリ部会

▶ 運用開始:
平成21年7月8日

▶ 登録件数:
約15,500件 (H23.11.15現在)

● <http://nirr.lib.niigata-u.ac.jp/>

1 - 6 .運営組織

- 共同リポジトリ部会
 - 平成21年7月、新潟県大学図書館協議会の中に設置
 - 新潟県大学図書館協議会参加館のうち、希望館が参加
(参加には部会の承認が必要)
 - ただし共同リポジトリへのデータ登録は、「共同リポジトリ部会」参加館以外でも可能

1-6. 運営組織

● 「共同リポジトリ部会」参加館

- 新潟大学
- 長岡技術科学大学
- 上越教育大学
- 長岡工業高等専門学校

- 新潟県立大学
- 新潟県立看護大学

- **長岡大学**
- 日本歯科大学新潟生命歯学部
- 敬和学園大学
- 国際大学
- 新潟経営大学
- 新潟国際情報大学
- 新潟産業大学
- 新潟薬科大学
- 新潟工科大学
- 新潟青陵大学・短期大学部
- 新潟医療福祉大学
- 明倫短期大学
- 事業創造大学院大学
- 新潟リハビリテーション大学院大学

計 20機関 (平成23年11月現在)

□は独自構築館(6機関)

1-7.新潟県地域共同リポジトリの概要



1-8. ホームページ公開との違いは？

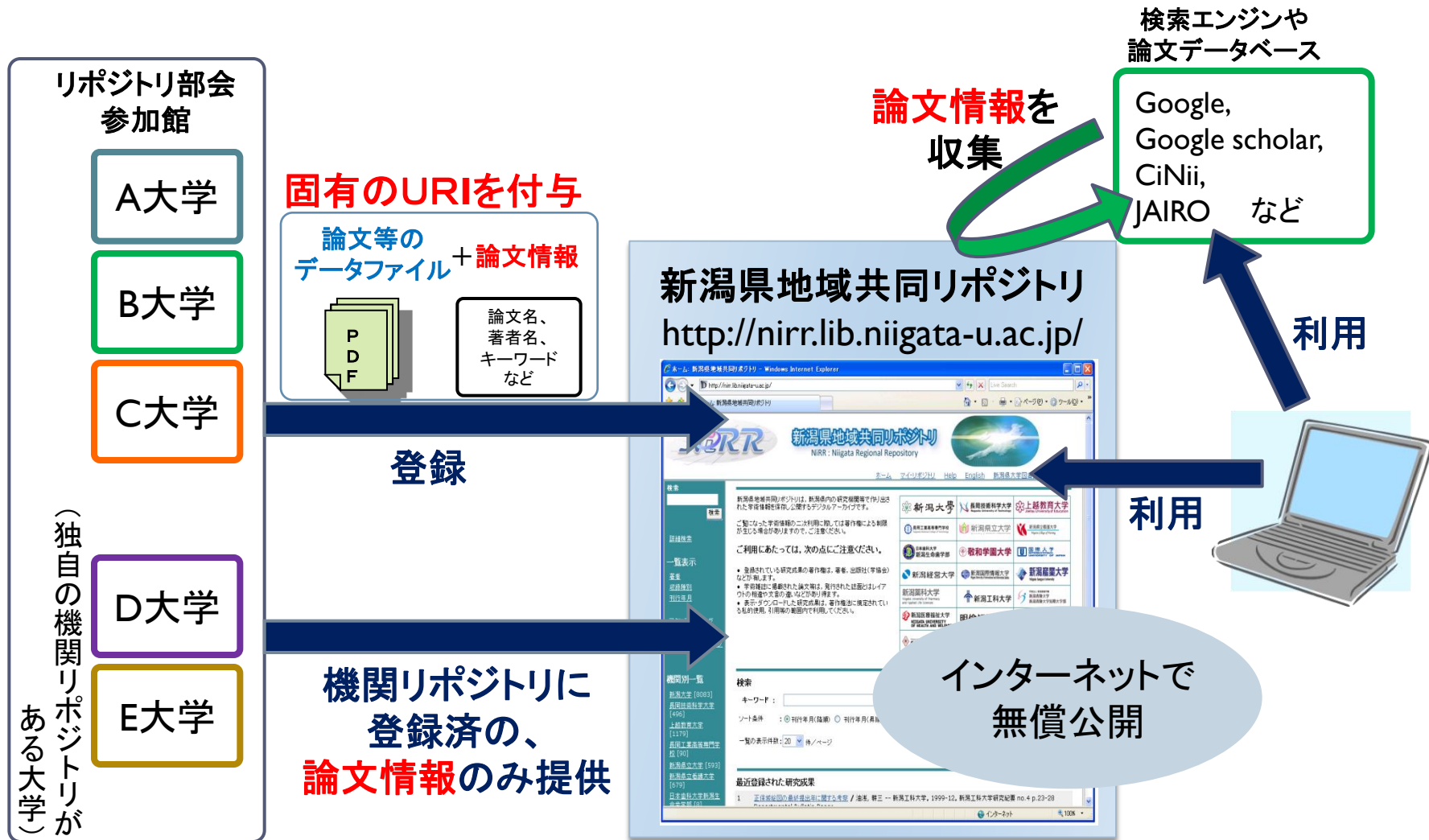
▶ 検索されやすい

- ▶ **論文情報**が、検索エンジンや論文データベースに自動収集されるため、様々な検索エンジンや論文データベースから利用される

▶ 長期的な保存が可能

- ▶ 研究成果を電子化して保存
- ▶ 登録データに対し、**固有のURIを付与**

1-8. ホームページ公開との違いは？



1-9.共同リポジトリ登録状況

(平成23年11月15日現在)

新潟大学	9,309
長岡技術科学大学	496
上越教育大学	1179
長岡工業高等専門学校	90
新潟県立大学	593
新潟県立看護大学	679
日本歯科大学新潟生命歯学部	8
敬和学園大学	287
国際大学	271
新潟経営大学	190
新潟国際情報大学	157
新潟産業大学	140

新潟薬科大学	120
新潟工科大学	374
新潟青陵大学・短期大学部	330
新潟医療福祉大学	475
明倫短期大学	503
事業創造大学院大学	22
新潟リハビリテーション大学院大学	1
※ 佐渡市教育委員会 ・佐渡学センター	280
※ 新潟県内学協会・研究会	22
計	<u>15,526件</u>

〔参考 1〕 国内の動向（1）

- 文部科学省による推進

- ▶ 学術情報基盤の今後の在り方について(報告)

(H18.3.23 文部科学省 科学技術・学術審議会学術分科会)

「...我が国の学術情報の流通の促進を図るためにも、

各大学は、学協会との連携を図りつつ、機関リポジトリに積極的に取り組む必要がある。...」

- ▶ 第4期 科学技術基本計画（H23.8.19）

「...**国は、大学や公的研究機関における機関リポジトリの構築を推進し、論文、観測、実験データ等の教育研究成果の電子化による体系的収集、保存やオープンアクセスを促進する。...**」

〔参考1〕 国内の動向（2）

● 国内の機関リポジトリ数

▶ 平成19年頃から急増

- ▶ この背景には、国立情報学研究所による「学術機関リポジトリ構築連携支援事業」（平成17年～）の支援がある

▶ 現在は、約150機関で運用

年	機関リポジトリ数
H18年	— — —
H19年	約 50機関
H20年	約 80機関
H21年	約 110機関
H22年	約 120機関
H23年	約 140機関
平成23年10月末現在	149機関

(参考) 国立情報学研究所. 機関リポジトリ統計 <http://www.nii.ac.jp/irp/archive/statistic/>

〔参考2〕 公開までの流れ

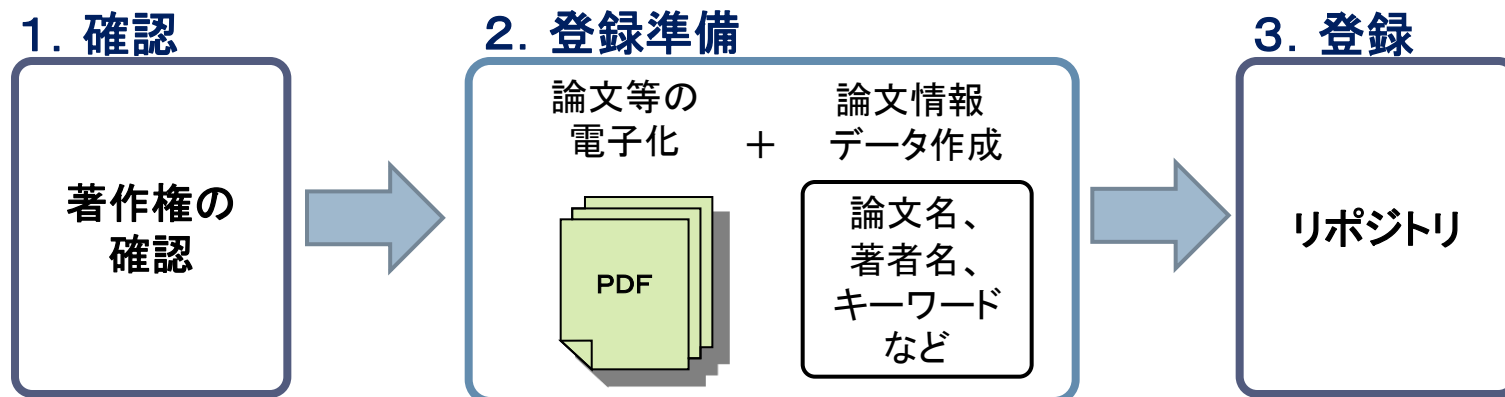
1. 著作権の確認

著作権者に公開の許諾確認を行い、許諾を得られたものだけを公開

2. 登録準備

- ① 論文等の電子化
- ② 論文情報のデータ作成

3. リポジトリへ登録



〔参考3〕 著作権について（1）

リポジトリ登録 = インターネットで無償公開

※著作権（複製権・公衆送信権）を行使



登録する論文等の著作権者から、

著作権（複製権・公衆送信権）の許諾が必要

〔参考3〕 著作権について（2）

■ 論文等の著作権者

■ 学会・出版社

- ▶ 学会・出版社の許諾があれば登録可
- ▶ リポジトリ登録の可否・公開条件は、ホームページや投稿規定などで確認

■ 紀要編集委員会

- ▶ 編集委員会の判断で公開可

■ 著者

- ▶ 著者の判断で公開可

2-1. 長岡大学の紀要登録について

刊行物名	巻号(刊年)
長岡大学研究論叢(長岡大学紀要)	No. 1-3 (2002-2005)
長岡大学研究論叢	No. 4-9 (2006-2011)

- ▶ 大学ホームページで公開済
 - ▶ 公開しているPDFを利用して共同リポジトリへ登録可能
 - ▶ 「長岡大学研究論叢」執筆要領
 - ▶ 『研究論叢掲載原稿は、PDF化して長岡大学ホームページで公開する』
- ▶ CiNiiには論文情報のみ登録(本文PDF未登録)
 - ▶ 共同リポジトリに本文PDFを登録すれば、CiNiiに登録されている論文情報からも、共同リポジトリの本文PDFにリンクして利用可能

2-2.登録作業

<登録手順>

1. 著作権の確認

- ▶ 著作権者(主に著者)に公開の許諾確認を行い、許諾を得る。
- ▶ 「長岡大学研究論叢」執筆要領
 - ▶ 『研究論叢掲載原稿は、PDF化して長岡大学ホームページで公開する』

2. 登録準備

- ① ~~論文等の電子化~~ ※大学HPで公開しているPDFを使用可
- ② 論文情報のデータ作成

3. リポジトリへ登録